

# 書窓

Shoso

No.326

2012. 4

太子町立図書館 編集発行

〒671-1561

兵庫県揖保郡太子町鰯

1310 番地 7

Tel (079)277-1580

Fax(079)277-5684

## 再び図書館へ

山本 亮

本とわたし  
308

数年前、「速読術」に出会い、再び図書館  
通いが始まりました。

幼いころより本が好きだったようで、母親  
に聞いてみたところ、小学校へ上がるぐらい  
まで毎晩『長くつ下のピッピ』『ニルスの不  
思議な冒険』、あまんきみこさんの本などを  
読み聞かせて寝かしつけていたようで、「も  
う寝た頃かな」とのぞき込んだら「もっと読  
んで」と母親を困らせていたそうです。

小学校低学年の頃に太子町立図書館が開  
館し、頻繁に通うようになり、週末に開かれ  
ていた「おはなし会」を楽しむにしていまし  
た。はじまりの合図にロウソクに火がともる  
と、壁や天井にユラユラゆれる影がうつり、  
おはなしの世界にひき込まれていました。ロ  
ウソクが吹き消されて会が終わると、やはり  
物悲しく、はや次回を待ち遠しく感じたもの

でした。

太子の図書館は、木製の書架や床タイルが  
使用されていて全体的に温かみのある建物  
です。書架も低く、大きな窓のある明るい児  
童書コーナーと比べると、奥のほうは天井ま  
で届きそうな書架に分厚く難しそうな題名  
の本が並んでいて、うす暗いシンと鎮まりか  
えった雰囲気になど大人の世界を感じ、子ども心  
に近寄りたいたいものを感じていたのを覚え  
ています。

本好きとしては、限られた時間であれば1  
ページでも多く、同じ文字数の本であればた  
とえ1秒でも速く読めればという思いがあ  
りました。そして数年前、出会った速読術に  
挑戦してみようと決心して、足が遠のいてい  
た図書館へ十数年ぶりに足をむけたのです。  
子どもの頃お世話になっていた司書さんも  
居られ、非常に懐かしく感じたものです。速  
読もまだ先は長い道になりそうですし、  
図書館にはこれからもお世話になろうと思  
っています。

(龍田)

書名	著者	出版社	請求記号
それでも、読書をやめない理由	デヴィッド・L・ユース	柏書房	019
僕は君たちに武器を配りたい	瀧本 哲史	講談社	159.7
草と木が語る日本の中世	盛本 昌広	岩波書店	210.4
平清盛と神戸 ゆかりの地で出会う歴史と伝説	田辺 眞人	神戸新聞総合出版センター	216.4
父系図 近代日本の異色の父子象	坪内 祐三	廣済堂出版	281
ブータン、これでいいのだ	御手洗 瑞子	新潮社	302.2
チャイナ・ナイン 中国を動かす9人の男たち	遠藤 誉	朝日新聞出版	312.2
阪神タイガース松木一等兵の沖縄捕虜記	松木 謙治郎	現代書館	329.6
日露戦争、資金調達の戦い 高橋是清と欧米バンカーたち	板谷 敏彦	新潮社	338.2
タックスヘイブンの闇 世界の富は盗まれている!	ニコラス・ジャクソン	朝日新聞出版	345.1
キレイならいいのか ビューティ・バイアス	デボラ・L・ロード	亜紀書房	367.2
100歳までボケない手指体操 脳の老化を防ぐ!		主婦と生活社	369.2
益川博士のロマンあふれる特別授業	益川 敏英	朝日学生新聞社	370.4
三商大 東京・大阪・神戸 日本のビジネス教育の源流	橘木 俊詔	岩波書店	377.2
にほんのおまじない 幸せを引き寄せる小さな魔法	広田 千悦子	徳間書店	387
遺伝子はダメなあなたを愛してる	福岡 伸一	朝日新聞出版	460.4
雑草の呼び名事典	亀田 龍吉	世界文化社	470.3
先生、モモンガの風呂に入ってください!	小林 朋道	築地書館	481.7
魚は痛みを感じるか?	ヴィクトリア・ブレイスウェイト	紀伊國屋書店	487.5
江戸時代に描かれた鳥たち 輸入された鳥、身近な鳥	細川 博昭	ソフトバンククリエイティブ	488
こうして治す下肢静脈瘤	岩井 武尚	保健同人社	493.2
胃を切った人を元気いっぱいにする食事160	主婦の友インフォス情報社	主婦の友インフォス情報社	493.4
腰・ひざ・肩・くびを楽にする本		主婦の友社	493.6
なぜ院長は「逃亡犯」にされたのか	森 功	講談社	498.8
野口さん、宇宙ってどんなにおいでですか?	野口聡一 大江麻理子	朝日新聞出版	538.9
いまこそ私は原発に反対します。	日本ペンクラブ	平凡社	543.5
Facebook仕事便利帳 新版 情報も人脈も得る180の活用法	鈴木 麻里子	ソフトバンククリエイティブ	547.4
ポリ袋漬けのすすめ 気楽で簡単おいしさ本物	荻野 恭子	文化出版局	596.3
浜内千波の朝15分! 満足お弁当レシピ	浜内 千波	二見書房	596.4
まいにちのお菓子づくり	本間 節子	主婦の友社	596.6
イラスト基本からわかる堆肥の作り方・使い方		家の光協会	613.4
福田さんのラクラク大収穫! 野菜づくり	福田 俊	学研パブリッシング	626.9
タイタニック愛の物語	ギル・ポール	二見書房	683.7
芸術家の家 作品の生まれる場所	ジュラル=ジョルジュ・ルメール	西村書店	702.8
名画が愛した女たち 画家とモデルの物語	木島 俊介	集英社	723
時には漫画の話を	川本 三郎	小学館クリエイティブ	726.1
濱田庄司スタイル 理想の暮らしを求めて		美術出版社	751.1
幕末明治見世物事典	倉田 喜弘	吉川弘文館	779.4
一流選手の動きはなぜ美しいのか	小田 伸午	角川学芸出版	780.1
はじめてのフラワーレッスン 花1本から素敵に飾る	増田 由希子	家の光協会	793
古代枕詞の究明	三浦 茂久	作品社	816.3
お国柄ことばの辞典	加藤 迪男	東京堂出版	818

書名	著者	出版社	請求記号
降霊会の夜	浅田 次郎	朝日新聞出版	アサ
ナミヤ雑貨店の奇蹟	東野 圭吾	角川書店	ヒガ
破戒者たち 小説・新銀行崩壊	高杉 良	講談社	タカ
マルセル	高樹 のぶ子	毎日新聞社	タカ
紙の月	角田 光代	角川春樹事務所	カク
兄よ、蒼き海に眠れ	佐江 衆一	新潮社	サエ
気分上々	森 絵都	角川書店	モリ
空中都市	小手鞠 るい	角川春樹事務所	コデ
少女は卒業しない	朝井 リョウ	集英社	アサ
列島融解	濱 嘉之	講談社	ハマ
ヘルたん	愛川 晶	中央公論新社	アイ
氷山の南	池澤 夏樹	文藝春秋	イケ
朱鳥の陵	坂東 眞砂子	集英社	バン
定本百鬼夜行 陰・陽	京極 夏彦	文藝春秋	キヨ
とにかくうちに帰ります	津村 記久子	新潮社	ツム
隈取絵師	平茂 寛	朝日新聞出版	ヒラ
PK	伊坂 幸太郎	講談社	イサ
バイ貝	町田 康	双葉社	マチ
国境越え	椎名 誠	新潮社	シイ
ねえ、委員長	市川 拓司	幻冬舎	イチ
天下の雨敬、明治を拓く <small>鉄道王雨宮敬次郎の生涯</small>	江宮 隆之	河出書房新社	エミ
奇妙な絵柄 <small>占い屋重四郎江戸手控え</small>	池永 陽	徳間書店	イケ
平蔵の首	逢坂 剛	文藝春秋	オウ
鬼が泣く <small>中山伊織仕置伺帳</small>	富樫 倫太郎	祥伝社	トガ
ほそ道密命行	田牧 大和	徳間書店	タマ
桜舞う <small>おいち不思議がたり</small>	あさの あつこ	PHP研究所	アサ
一石二鳥の敵討ち <small>半次捕物控</small>	佐藤 雅美	講談社	サト
おれは清麿	山本 兼一	祥伝社	ヤマ
夜鳴きめし屋	宇江佐 真理	光文社	ウエ
うつけの采配	中路 啓太	中央公論新社	ナカ
特急ワイドビューひだに乗り損ねた男	西村 京太郎	光文社	ニシ
大公女殿下に捧げる密室	芦辺 拓	祥伝社	アシ
炎上 <small>警察庁情報分析支援第二室(裏店)</small>	遠藤 武文	光文社	エン
デッドエンド <small>ボディガード工藤兵悟</small>	今野 敏	角川春樹事務所	コン
帝の毒薬	永瀬 隼介	朝日新聞出版	ナガ
シャッター通りの死にぞこない	福澤 徹三	双葉社	フク
キング・メイカー	水原 秀策	双葉社	ミズ
高原のフーダニット	有栖川 有栖	徳間書店	アリ
日本を、信じる	瀬戸内寂聴 <small>ドナルド・キーン</small>	中央公論新社	セト
細部にやどる夢 <small>私と西洋文学</small>	渡辺 京二	石風社	930.4
河・岸	蘇 童	白水社	Fス
リスボンへの夜行列車	パスカル・メルシエ	早川書房	Fメル

1ねんに365のたんじょう日プレゼントをもらったベンジャミンのおはなし

ジュディバレット さく

ロンバレット え

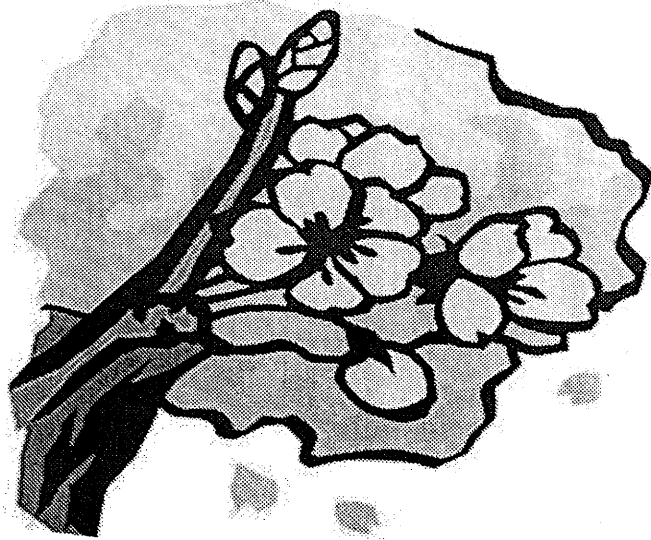
松岡 享子 やく(偕成社)

今日は、ベンジャミンの九歳の誕生日です。友だちがプレゼントを持ってパーティーにきました。ベンジャミンは包みをあけるのが大好きでした。鳥かご、ズボン、模造飛行機など。友達が帰った後も、包みをあけると、どんなに楽しかったかを思い出していました。けれども、次の誕生日が来るまで二六五日もあります。ベンジャミンは悲しくなりました。「そつだ、鳥かごをもつ一度包みなおして、それが何か知らないことにすればいい。」

次の朝、目を覚ますとそこにプレゼントがあり、誕生日がもういつペン来たようでした。別のプレゼントを包みなおし、何日も余分に誕生日を楽しみました。プレゼントがなくなると、家の中の物を包みました。ズボン吊り、カーテン、目覚まし時計、冷蔵庫……。それを毎日、毎日、二六五回続けました。

ベンジャミンが包んだ様々な物が、文字ではなく絵でユーモアたっぷりに描かれています。読んでもらえば、四歳くらいから楽しめます。

(小西)



このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

子どもの本だな 142

ドリトル先生アフリカゆき

ヒュー・ロフティング 作

井伏 鱒二 訳(岩波書店)

オウムのポリネシアから動物のことはを学んだ医者、ジョン・ドリトル先生のもとに、ある日、アフリカでサル疫病が流行っているという知らせが届きました。

先生は、ポリネシア、サルのチーチー、犬のジップラとアフリカへ船出しました。何週間も航海を続けるうち嵐に遭い船は難破。無事上陸できたものの、白人嫌いのジョリギンキの王様の追跡を受けます。サルの国に近づいたとき、王様の追手に見つかりました。サルの国へは険しい崖に挟まれた川を渡らなければなりません。大勢のサルが手や足をつなぎ、橋を作ってくれました。懸命に働き、サルたちを疫病から救った先生は、お札にオシツオサレツという動物を贈られました。

帰路、ジョリギンキで囚われたり、海賊に遭ったりとさまざまな出来事が起こります。先生を信頼する動物たちに助けられ、イギリスに帰り着くまでがユーモラスに描かれています。「ドリトル先生物語」の一卷目。七歳くらいから楽しめます。

(竹内)

# お 知 ら せ

## 図書館利用者の皆様へ

新年度になりましたので、新たに平成 24 年度の登録をお願いします。

「図書貸出登録票」にご記入の上、お借りになる本とともに、カウンターの館員にお出してください。

(小学生以上の児童、学生の方は、新しい学年を書いてください)

年1回の住所、電話番号、学年等の確認と利用統計のためです。ご了承ください。

### ※貸出券のない方は

新たにお借りになる方、貸出券を紛失された方も「図書貸出登録票」にご記入の上、お借りになる本とともに館員にお渡してください。貸出券を作ります。

### 4月・5月の移動図書館(いずれも木曜日です)

4月	5月	10:30 ~11:00	11:10 ~11:40	14:30 ~15:00	15:10 ~15:40	16:00 ~16:30
12日	10日	塚森 公民館	/	福地 三反長 地域内	米田 公会堂	竹広南 公民館
19日	17日	岩見構下 公民館	岩見構上 公会堂	原池団地 公民館	山田 掲石板 前	原 太田東地 区農村交 流センター
26日	24日	広坂 ポスト前	上太田 公民館	沖代 コミュニ ティセン ター	吉福 公民館	太子ニ ュータ ウン公 民館

### 5月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
		<del>X</del>	2	3	4	5
6	<del>X</del>	<del>X</del>	9	10	11	12
13	14	<del>X</del>	16	17	18	19
20	<del>X</del>	<del>X</del>	23	24	25	26
27	28	<del>X</del>	30	<del>X</del>		

### 4月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	<del>X</del>	<del>X</del>	4	5	6	7
8	9	<del>X</del>	11	12	13	14
15	<del>X</del>	<del>X</del>	18	19	20	21
22	23	<del>X</del>	25	26	27	28
29	<del>X</del>					

×印は休館、□印は午後1時まで開館。開館は10時からです。

金曜日は午後8時まで開館しています。

### 図書のリサイクルについて

次回の図書リサイクルは、平成24年5月26日(土)午後1時~5時、文化会館中ホールにて開催する予定です。

## 地 下 水

今年、寒さが長びいたが、ようやく春らしくなった。毎月開いているストーリーテリングの勉強会で、Hさんがワーズワースの詩「わが妹に」を暗唱された。「急いで散歩のなりに変え、書物をもつのは止めにして、今日一日を、のんびり暮そう」と誘われ、私も春の散歩に出かけたくなった。勉強会では、おはなしの時間に子どもたちに語るため、詩や昔話、物語を覚えて皆に聞いてもらい、感想を言い合う。私も新しいお話を覚えたい、と毎回刺激されるのだが、夜、子どもを寝かしつけながら一緒に寝てしまう毎日が続く。絵本を何冊か読んで聞かせ、明りを消した後、「おはなしして!」。私は本から覚えたお話を語るのだが、夫は適当に自分で創ったお話を語る。夫のお話は、つつこみたくなる所も多いが、よくまあ適当に次々と思いつくものだと感心もする。『クマのプーさん』『ふしぎの国のアリス』『たのしい川べ』など、フアンタジーの傑作と言われる作品は、作者が身近な子どもに語って聞かせたのがきっかけで生まれたものが多い。有名な作者たちも、子どもにお話をせがまれ、毎晩ベッドでお話を語り続けたのかもしれない、と想像するのも楽しい。(池田)

▼前館長山本隆文の退職に伴い、四月から新館長(文化会館館長兼務)に木村和義が就任しました。よろしくお願いいたします。